

関市学校教育夢プラン

関市教育委員会学校教育課

Seki City School Education Dream Plan

関市学校教育夢プラン

関市教育委員会

令和6年度

学力向上・個性の伸長

- 学力向上・課題研究等 研究校の指定
- 中学生海外交流事業の実施
 - ・シンガポール文殊中学校との相互交流
- 関市中学生オンライン留学事業
- 中学生英語スピーチコンテストの開催
- 関市児童生徒ビブリオトークの実施(市立図書館連携)
- 関市子ども美術館
- 【拡充】外国人児童生徒等教育相談員の配置
- かがやき非常勤講師・わかあゆ非常勤講師の配置
- 外国人児童生徒等初期適応指導教室の設置(フレンズ教室)



夢のある明るい学校

STEAM教育の推進

- STEAMツアーの開催
- GIGAスクール構想の実現(ICTを積極的に活用した授業)
- 小中学校プログラミング教育の充実
- 情報モラル指導の徹底と継続(出前授業の実施)
- 科学作品フェスティバル(科学作品発表事業)
- 関市児童生徒科学作品展の開催

ふるさと教育の推進

- 各校の特色ある教育活動の充実
- ふるさとの自然・歴史・伝統文化等を活用した教育活動の充実
 - ・小基輪船鑑賞・古式日本刀鍛錬見学
- 市内文化施設見学、環境関連施設見学
 - ・遺跡見学(原原遺跡・赤動寺首衝遺跡群)

キャリア教育の推進

- 「関市私の主張大会」の開催
- キャリアパスポートを活用したキャリア教育の推進
 - ・地域の教育力を活用したキャリア教育
- 幼保・小・中・高・専・大の交流の推進
 - ・小学校や中学校への関商工出前授業
 - ・高大・高専連携(高崎尚科大学・中日本航空専門学校)
- 明日を担う人材育成事業
 - ・企業連携・地域連携

未来を担う教職員の育成

- 教職員のニーズに合わせた研修
 - ・「授業力向上研修」・「カリキュラム・マネジメント研修」
 - ・「学級活動研修」・「ミドルリーダー研修」・「ICT研修」
 - ・夏期実質向上研修(人権教育・特別支援教育・教育課程)
 - ・オンライン研修(ICT・特別支援教育・教育相談)
- 校内研修の充実

学校教育の基盤 **安全・安心な学校づくり**

<ul style="list-style-type: none"> ○【重点】いじめ撲滅の取組の充実 ○【重点】不登校対策事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・関市校内フリー教室「L教室」4校設置 ・児童生徒適応指導教室「ふれあい教室」の運営 ・ふれあいチャレンジ教室・子ども家庭課との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○【新規】出発ふれあい教室の運営 ○【拡大】「心の相談員」全小中学校配置 ○【拡充】発達検査等の実施および職員研修 ○スクールロイヤー制度の活用 ○学校安全支援者の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育アシスタントの配置 ○特別支援教育拠点校指導員の配置 ○市費養護助教諭の配置 ○危機管理マニュアルや命を守る訓練の充実と組織的対応 ○感染症や食中毒・アレルギー等の予防かつ的確な対応 ○学校運営協議会等による家庭及び地域の学校運営への参画と連携強化
---	--	--

はじめに

関市教育委員会では、平成25年度より『学校教育夢プラン』を展開し、「夢のある明るい学校」をスローガンに、教育活動を推進しています。12年目を迎える令和6年度は、学校や児童生徒の実態に応じて、6分野から5分野に精選し24事業の『関市学校教育夢プラン!』として、より一層の充実を図ってきました。その中で、いくつかの事業について紹介します。

1【学力向上・個性の伸長】「中学生海外交流事業」

関市では、21世紀の関市を担う中学生を市の代表として海外研修することによって、現地の人々との交流やその国の文化や歴史などを体験し、豊かな国際感覚を養うとともに、広い視野をもち、国際化の先頭に立って活躍する人材を育成することをねらいとして、シンガポールへの海外研修を行っています。市内中学校に在籍している中学校2、3年生から応募選考し、20名が研修を行いました。このプログラムでは、現地滞在期間のうち2日間を文殊中学校訪問にあてており、同世代の生徒との交流に重点を置いています。バディとペアになり、授業やクラブ活動などの学校生活だけではなく、各家庭にも訪問させてもらい、観光旅行ではできない貴重な体験をさせてもらいました。事前研修の際、英語が苦手だと話していた生徒もいましたが、徐々に自信をもって堂々と会話する生徒が多く見られました。帰国後もSNSを通してバディと英語で連絡を取り続けている生徒が多く、今後も彼らとの交流が続いていくことを願っています。



【参加生徒の感想】（一部を抜粋）

- ・私はこの研修に参加したことで、言語の壁を超えた素晴らしい仲間に出会い、仲間たちからたくさんのお話を学ぶことができました。そして、シンガポールでの現地の人々との交流を通して、自分たちと異なる価値観や文化、そして日本や関市、自分自身を新たな視点で見つめ直すことができました。これからは多様な文化があることは当たり前だという認識をもち、自国以外の文化を理解しようとする努力をし続けていこうと思います。

2【学力向上・個性の伸長】

「関市児童生徒ビブリオ・トーク」の実施

「お気に入りの本」を互いに紹介し合う「ビブリオ・トーク」。8月に、市内の小・中学生など23人が集まり、それぞれの「お気に入りの本」を手に、作品の魅力や好きな場面、おすすめのポイントなどを発表、意見交流を行いました。今年度初めての実施でしたが、今後も小・中学生だけでなく、多くの市民の方々と読書の楽しさを共有できる企画にしていこうと考えています。



3【ふるさと教育の推進】「ふるさとの自然・歴史・伝統文化等を活用した教育活動」

ふるさと関に愛着とほこりがもてる児童生徒の育成を目指し、市内全小学校17校の主に5年生においては、「小瀬鶺鴒い見学」、6年生においては「古式日本刀鍛錬見学」を行っております。どちらも関市にとっては伝統ある文化であり、実際に触れることは、今後児童の心に深く残っていくものであると考えます。

5年生の小瀬鶺鴒い見学では、鶺鴒匠さんから、小瀬鶺鴒いの歴史などの講話を聞き、その後、実際に鶺鴒い船に乗車し、鶺鴒見学を体験しました。

6年生の古式日本刀鍛錬見学では、刀匠さんから、刀鍛冶の歴史などについて話を聞き、その後、実際に、一人一人刀鍛冶体験を行いました。



4【STEAM教育の推進】「STEAM ツアーの開催」

関市学校教育夢プラン「STEAM教育の推進」の事業として、チームで協働的な実践力を発揮し、様々な情報を活用しながら、課題の発見・解決に向かう資質・能力を育成する目的で、昨年度から実施しています。3～4名で構成したチームで、「ドローンプログラミング競技」

「micro:bit プログラミング競技」「理科算数（数学）問題解決」の3つのミッションに挑戦し、それぞれの競技で獲得したポイントの総合計で順位を決めます。各部の最後に、ドローン関係会社によるドローンの編隊飛行のデモンストレーションが行われました。3～4人のチームで、課題解決型の問題に取り組んだり、プログラミング課題に取り組んだりすることで、仲間と協力し多面的に考える力を培いました。



5【安全・安心な学校づくり】「心の相談員の全小中学校配置」「スクールロイヤー制度の活用」

全国的に不登校児童生徒の増加が見られる中、関市では、教育相談充実を図っております。その一つとして、児童生徒によりそい、心の悩みや不安感が軽減できるように、市会計年度任用職員として「心の相談員」を、令和6年度から、市内全小中学校に配置をしております。相談内容について、校内で共通理解を図り、対応を考えております。このことは不登校対策、いじめの未然防止につながると考え取り組んでいきます。

また、学校現場では、学校事故、生徒指導、不登校、いじめ、保護者対応、学校運営など校務全般に問題が発生する可能性があります。こうした際に、弁護士力を借り、法的な助言や対応などの法律相談が、学校が利用できるようにし、学校運営をサポートしています。